

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年2月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671100115
法人名	社会福祉法人 野の花会
事業所名	もうひとつの私の家 なでしこ
所在地	鹿児島県南さつま市加世田村原一丁目9-6 (電話) 0993-53-8885
自己評価作成日	平成27年1月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年2月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、厚生労働省のグループホームモデル事業として開設し、たとえ認知症になっても地域の中で安心して過ごされるよう、その人らしさやその人の生活史を大切に、生活の継続性を尊重するための支援に努めてきました。専門医による定期的相談会などのサポート体制も充実しています。できる限り自分のことは自分で、助け合って、地域とつながって生活されるよう工夫を行うように心がけています。日々の暮らしの中で、外出などを楽しみ、季節の行事、行事食の調理などを通じて、また、買い物や地域の行事への参加を通じて地域の方々とつながり、力を発揮されています。そして、これらのことが、意欲の向上や楽しみにつながるよう支援してきました。

そのためにも、関わるスタッフは、資質の向上を目指し、お年寄りの力を引き出せるよう、心をこめ、尊厳をもって、「生・死・いのち・暮らし」について、様々な思いを積み重ねながら生活されているお年寄りへ、どのようなケアが必要であるか気づくことのできるよう、そして最期までその人らしく過ごされるよう支えるために、私たちのケアの技術が応えられるよう努めなくてはならないと考えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・事業所は関連施設が多く法人全体としての様々な取り組みをしている。管理者は鹿児島県の認知症介護実践研修指導者であり、認知症相談会や研修指導に携わっている。事業所は理念が徹底されたサービスに努めている。人事考課や専門資格取得のカリキュラムを作成し人材育成や職員の質向上に取り組んでいる。

・入居者が地域の中で地域とのつながりを大事にしながら、自分らしさを保ち生きることを尊重する支援をしている。事業所に隣接する「癒しの庭」は入居者のための庭園があり年中豊かな美しい花が咲き、くつろぎの場としてテーブル・椅子が準備されおり、誰でも自由に出入りができ、地域とのつながりの場にもなっている。

・食は人間の楽しみのひとつとして大事にしている。プランターで青野菜などを育てて収穫し、食材として献立を考え、料理する一連の過程を利用者も職員と一緒にいき、楽しく食事ができている。その日の食材で利用者の希望のメニューを決めている。食材は利用者と買い物に行ったり、伝統的な漬物や団子など手作り食品にも力を入れ家庭らしく生活している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>法人が開設当初より地域の中で創りあげて来た理念を持っており、事業所としても理念の共有化のために年度毎にグループワークで定例勉強会や定例スタッフ会議などで、学び話し合い、日々のケアに取り組んでいる。またお年寄りの尊厳を支え、理念を実践につなげている。</p>	<p>職員は理念をもとに細分化した今年度の重点目標をかかげ、会議で話し合っている。理念は利用者の人格を尊重し、その人らしく暮らし続ける支援と事業所と地域の関係性を重視したもので、理念をもとにケアに取り組んでいる。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域の自治会への参加も行ない回覧板・地域の道路清掃参加も行なっている。毎日の買物も近くのスーパーを利用している為顔見知りも多くなってきており散歩時の会話も増えている。</p>	<p>日常的に散歩や買い物・食材の買い出しなど積極的に外出し、近隣に住む人たちと触れ合う機会を多く作っている。事業所の行事は、地域の公園で行い舞台作りから出し物まで、地域住民の協力が大きく、事業所と地域が一体となっている。「癒しの庭」は年中花が咲き、気軽に休憩する場として利用者や地域の人がお互いに交流している。</p>	

もうひとつの私の家 なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	法人には既に講演や介護予防教室・2級ヘルパー講習などの実績があり、24年度より「認知症になっても安心して住める街、加世田」を目指し、地域が連携して「支援パス」の活用を行い、認知症の方とご家族、地域の方々へ発信している。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を行っており活用されている。行政の方・ご本人・家族・地域の方の参加で活動報告を行なっている。又地域の自治会長も参加しており地域の行事の紹介もあり祭りには参加している。	会議は行事報告や活動状況・利用者の暮らしぶり・脳リハビリの取り組み状況・健康状況など報告し、質問や意見・提案が出され、避難訓練に於いても「近隣から出火した場合どう避難するか」等、話し合い、全員でサービスの向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	推進会議にも毎回参加し、市町村担当者からの情報提供も細くなされている。グループホームの運営面についても日常的なやりとりができています。	行政担当者と日頃からメールでやり取りを行い、情報提供やアドバイスを受けている。運営推進会議にも担当職員が参加して情報交換し協力関係を築いている。	

もうひとつの私の家 なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人の理念に深く関わっており大切に組みこんできたことである。新人スタッフにもまず初めに理解を求める研修を継続して行い、法人一丸で取り組んできた。また勉強会も行っており、スタッフも確認が出来る。</p>	<p>出入り口は施錠はなくエレベーター利用も自由である。毎日の散歩で地域の人とも顔なじみの利用者が多く、1人散歩の時も声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。危険リスクのある利用者は家族と話し合い、低床ベッドや床にマットを敷く等、自由で安全な支援をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人の母体である特別養護老人ホームで開設当初から基本として取り組んできた実績があり、管理者・スタッフは採用後必ず基本として学ぶ環境にある。マニュアルもあり、現任職員の間でも勉強会で確認している。身体的虐待が無いことは当然であるが日常の言葉使い、スタッフの行いの中にも敬意を持ってあたるようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>なでしこ利用者の方で生年後見人を利用されている方があり、後見人の方とも連携しご本人を支えている。制度に関する勉強会も行っており、必要性も理解している。</p>		

もうひとつの私の家 なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際管理者または計画作成担当者は重要事項説明書を家族と共に読み合わせなでしこでの生活に不安がない様に十分納得いただけるようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居時に重要事項説明書により苦情相談窓口の担当者がいることを書類・口頭でも説明している。入居者の気持ちも普段の会話からくみ取っており配慮している。家族会・運営推進会議でも家族からも意見を頂いている。</p>	<p>利用者や家族は、家族会や運営推進会議に参加し、思いや意見を伝える機会を作り、法人内に第三者委員会があり、外部の人に意見・苦情を表せる機会も設けている。年に1回アンケートも実施している。出された意見・要望は会議で話し合いサービス運営に活かしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月、運営者・管理者を含む全職員出席の定例会を設けており運営、サービス内容なども協議している。また月1回の責任者会議には管理者と法人の責任者で話し合いが持たれ各事業所へ持ち帰っている。</p>	<p>毎月、理事長の話や職員会議を設け、意見や要望・情報交換を行っている。直接職員の声を聞く個別面接の機会もあり、出された意見や要望はサービスの質の確保や運営につなげている。</p>	

もうひとつの私の家 なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人において人事考課制度及びキャリアパス制度がすでに導入されており、職場環境の整備へ積極的に取り組みを行なっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人全体での研修に取り組みその時代にふさわしい講師を招いて全員で研修を受ける機会が多く設けられている。介護福祉士受験を希望する職員へは法人で勉強できる体制ができておりなでしこの職員も参加している。今年度キャリア段位制度の取り組みも行なっている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者が県の認知症の指導者でもあることから、県内の同業者の研修施設として多くの方が訪れており交流が行なえている。多くの意見交換も行なえている。</p>		

もうひとつの私の家 などでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談のあった時点で法人内共通のフェイスシートに本人の身体状況や生活歴・相談内容を記入し分析すると共に本人の思いを大切にしたり係わりで不安や寂しさを感じないよう職員との関わりを大事にしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人同様にフェイスシートに家族の思いも記入し分析するとともに家族の不安の解消・望みの実現に努めている。特に入居時は不安も大きいので家族との連携も密に行なっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に関った居宅ケアマネジャー・ソーシャルワーカーとも協力し本人と家族に必要なサービスを見極めグループホーム入居までの支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日の暮らしの中や、祭事等に関して行事の進め方祭事食の献立などヒントを貰って共に作っている。季節の保存食づくりも皆さんで楽しく作っている。		

もうひとつの私の家 なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>日々の暮らしに関わっていただくことはもちろんであるが、家族と地域と楽しむ行事もともに計画を立てて実施している。家族状況に合わせて負担にならない配慮や介護に関する悩みの傾聴も行っている。また、お盆・正月は少しの時間でも良いので自宅への帰宅が出来るよう呼びかけている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>一人ひとりの想いに添い実現できるように支援に努めている。暮らしの中に根ざした商店へ通い、親戚・家族の行事、地域行事やお墓参り・馴染みの美容室の利用なども家族の理解と協力で支援している。また、訪問客も来訪しやすいように周囲にも声掛けなど行っている。</p>	<p>散歩や買い物・行事で地域の人とふれあう機会が多い。散歩中、住民の庭の花や玄関先の花を気軽に見せてもらうなど地域にとけ込んだ交流ができている。事業所での地域との関わりを大切にする一方、出身地の地域行事や墓参りなど、関係継続の支援も行っている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>なでしこで共に生活しているという思いは強く、互いに助け合って、気遣いがある。お年寄りひとり一人の得意とされることを知って支援を行っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院や他事業者への移転など時もお見舞いや、家族への電話など不安にならないように心がけている。また退院時の相談や再入居の相談にも応じ、安心できるよう心がけている。</p>		

もうひとつの私の家 なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いを大切に、その方らしく暮らしていただくために、本人・家族からの話を傾聴し、本人に関わる各専門スタッフからの情報や、法人内共通の支援パスシートや、生活歴・ライフスタイルを中心としたアセスメントを活用し把握に努め本人の視点に立ち、検討している。	本人や家族の意向や法人の支援パスシートを活用し、利用者や家族の希望を把握し、意向に沿ったケアに努めている。入所まもない利用者や意思疎通が困難な場合は、関心を持つことや希望を確認し、一人ひとりの思いに沿った暮らし方を支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人思いを大切にその方らしく生活して頂く為に、本人・家族からの話の傾聴は勿論であるがこれまで関わった方々からの情報・法人共通の支援パスシートの活用で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前の日常に関する把握は勿論であるがなでしこ入居後はモニタリングを行ないながら一日の過ごし方、心身状態、毎日の話し合いの中でスタッフからの情報取り入れ把握に努めている。日々の記録も行なっている。		

もうひとつの私の家 なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>スタッフを交えた本人・家族との会話の内容を専門スタッフの意見等も反映しながら定期的なモニタリングとサービス担当者会議で検討して介護計画を作成している。</p>	<p>個別ファイルが準備され、職員全員が情報を共有しカンファレンスを行い、より良いケアに向けて、介護計画を作成している。スタッフの気づきや利用者の状況変化は、ケース記録に記載し、情報を共有しながらモニタリングで評価を見直し、現状に即した介護計画につなげている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日介護計画に沿った記録を行っており毎日のミニカンファレンスにて情報の共有を図っており、その人らしさはケース記録にも記載して次の計画に生かしている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>なでしこでは多機能性は持ち合わせていないが、できるだけ本人の意向に沿いなでしこでの生活を支えている。法人の母体である特別養護老人ホームでは生涯を支えるサービスを整え柔軟な支援ができています。法人の他事業、他サービスの提供と柔軟な支援に取り組んでいる。</p>		

もうひとつの私の家 なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の意向や必要性に応じて支援されている。地域への行事等の参加もあり、馴染みの生活を地域の中で楽しみとしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人家族の希望を大切に今までのかかりつけ医との関係を継続出来るように支援しており訪問診療・外来受診などそれぞれの主治医で行なっている。また緊急時には協力医療機関の受診がえられ不安のない様支援している。	本人や家族が希望するかかりつけ医になっている。眼科・皮膚科の専門医療機関への受診も行っている。必要に応じ受診支援も行い継続的な医療が受けられるようにしている。毎週看護師の訪問で健康管理ができ、早期発見できるしくみがある。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同法人内の訪問看護ステーションと医療連携を契約したことで日常的に同センターの看護師に相談できる環境にある。又かかりつけ医療機関の看護職の方にも日常の健康管理や医療について相談し支援をしている。		

もうひとつの私の家 などでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院後は早期に見舞い安心できるようにしている。家族とは定期的に連絡を取りご本人、ご家族の退院後の不安がないよう支援している。同法人内のソーシャルワーカー・居宅ケアマネージャーとも連携し退院後のサービス利用について早期に相談援助をすすめている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末ケアについては入居時及びその後の必要時に話し合い事業所としての方針、これまでの取り組みなどに説明している。状況変化時は家族や主治医と方針を共有している。事前指定書・同意書・ターミナルマニュアルなど整備されている。</p>	<p>指針があり入居時に利用者家族に過去の経験など具体的に説明し同意をもらって進めている。身体状況の重度化が進むにつれ段階的に主治医や看護師と医療連携をしながら、家族の協力を得て終末期のケアを共に支援している。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルもできており緊急時は訪問看護師の対応されている。またケアワーカーも必要最低限の対応ができるよう、定期的に訪問看護師から研修を受けている。又マニュアルもある。</p>		

もうひとつの私の家 なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回定期的な防災訓練を行っている。法人全体で地域の人々の協力を得られるように働きかけに努めている。地域自治体との協定書も結ばれている。地域推進会議には自治会長からも協力的な意見を頂いている。</p>	<p>消防署の協力のもと年に2回利用者と共に避難訓練を行っている。市や地域と協定書を結び協力体制を築いている。事業所は3階建であり、各フロア毎にベランダ迄利用者が避難できる方法を職員は身につけている。ベランダからの避難誘導は、地域住民の協力で確実に避難場所に誘導できる連携ができています。災害に備えた備蓄もある。</p>	

もうひとつの私の家 などでこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>ホームの理念に深く関わっており、もっとも大切にしている。新人スタッフにもまず初めに理解を求める研修を行い、慎重に取り組んでいる。また マニュアル、基準書で随時確認出来るようになっており、勉強会も継続して行っている。</p>	<p>利用者の一人ひとりの尊厳を守り、本人の気持ちを大切に考えたケアに取り組んでいる。気になるスタッフの対応は、管理者が指導や研修を取り入れ誇りやプライバシーを損ねないケアを徹底している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>暮らしの中で同じ目線で話の傾聴を行い理解していただけるように対話している。本人からの希望も自己決定できるよう働きかけており、日々本人の希望の言葉はあり対応している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その方のペースにあわせてゆっくり待つことを基本にその人らしく暮らせるように支援している。また、本人の希望を遠慮なく言える環境にあり、家族の協力を得ながら本人の思いに添えるよう努めている。</p>		

もうひとつの私の家 などで1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節にあった日々の身だしなみはもちろんであるが、家族行事や外出時にふさわしいおしゃれも支援している。ホーム内での美容師の利用も行えており、髪染を希望される方も美容師訪問時におこなっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材選びの買い物から調理後片付けまでおひとりお一人の力を活かして行っている。又嗜好・栄養や郷土料理・季節感を大切に献立し配慮している。	食事は、口から食べることを大事にし、ミキサー食は原形を見て食べる工夫をしている。手作りの青物野菜やソラマメ・トマト等も食材として使用し、切り干し大根、金柑漬け、らっきよ漬けなど利用者と共に作り、食への関心を引き出している。季節行事会や外食・誕生日食はリクエストを聞き対応している。食事が利用者にとって、楽しいものになるように支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量も記録に残して把握している。栄養バランスについてもスタッフ勉強会での知識の共有を図り同法人の管理栄養士からの助言などで適切に確保できている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	同法人内の専門の歯科衛生士に個々の状態をみて頂き、その方の口腔の状態・本人の力に合わせた口腔ケアの支援を毎食後行っている。		

もうひとつの私の家 なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンの把握に努めプライバシーに配慮を行い誘導している。夜間も失禁の不快感がないように各人に合わせて適時誘導を行っており昼夜を問わずリハビリパンツの使用は行わない事で排泄に取り組んでいる。又各居室にトイレがありで安心して排泄できる環境になっている。	法人全体でおむつ外しのケアに取り組んでいる。一人ひとりに沿った排泄ケアをしている。昼夜を通し居室のトイレで排泄できる支援をしている。夜間は、時間を見て声かけし誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適切な食事・運動・散歩・水分補給献立の工夫で出来るだけ自然排便できるよう心がけている。水分は体重にもよるが、1日に1300ccから1500CC以上を目標にその方に応じて朝の牛乳・好きな飲み物も取り入れている。排便を促す食材も積極的に取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日、個浴で入浴できるようになっており、希望があればいつでも入浴できる。ゆっくりスタッフと会話を楽しんでいただき、見守り、くつろげる雰囲気大切にしている。	毎日入浴できる準備ができています。利用者は、希望する日に個浴でゆっくり入浴することができる。入浴をいやがる利用者はいない。	

もうひとつの私の家 なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	おひとりお一人に合わせて対応 されている。休息に関しても閉 じこもり孤独感に配慮し見守り を行い昼夜逆転につながらない ように気持ちの良い睡眠につな げる努力をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている	医師の指示により正確に服用さ れるように、おひとりお一人の 服薬関連のファイルを作成、毎 日の服薬状況を記入することで スタッフが理解出来るようにし ている。頓服薬も記入してい る。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活暦や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	本人の趣味や生活歴から役割・ 楽しみを共に模索し支援し常に 自信を高めるような言葉かけや 働きかけを行い喜びにつなげて いる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	毎日のお買い物・散歩やドライ ブ・地域行事への参加・家族と の外出など選択肢を広くし本人 の希望に添い支援している。 1階テラスや隣接するいやしの庭 でのお茶など戸外でのレクレ ーションなど工夫している。	日常的に事業所周辺の散歩や買 い物・ドライブ・墓参り・地域 行事など、積極的に戸外へ出か ける支援をしている。	

もうひとつの私の家 なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており金銭の管理が出来ない方も家族の理解を得て、小額のお小遣いを持っていただき買い物時に、ご本人がお財布からお金を出し、好みのものが購入できるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の取次ぎや手紙・ファックスの受け取りはもちろんであるが個人で電話が自由にできるように3階に馴染みのピンク電話を設置している。家族会では可能な方には携帯電話の使用も勧めている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に合わせて配慮している。調度や備品はご本人にふさわしい品を家族にもお話し調えている。フロアの装飾もお客様と共に手作りし配置し家庭的な雰囲気心をかけている。又、季節行事の馴染みの装飾・楽しい装飾など入居者とともに楽しんでいる。</p>	<p>フロアは、バリアフリーで、空調設備が整っており、明るく広くゆったりとしている。テーブルや椅子・調度品の一つひとつに居心地良い空間づくりがなされている。利用者と共に季節の飾りつけも行っている。「福祉に文化」を大切にし、生活の中で絵や花に囲まれて、豊かに居心地よく暮らす工夫がなされている。</p>	

もうひとつの私の家 なでしこ1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビング・廊下のスペースをソファや予備の椅子、観葉植物などで必要に応じた模様替えが行えるようになっており各々に和やかな語らいの場や穏やかにひとりで過ごせる空間も確保できている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の協力により、大切なもの・思い出の品・自宅での本人の大切なものなどの持ち込みもあり安心して過ごされる居室の環境が整っている。入居時にご家族へも馴染みの物を持参するように呼びかけている。</p>	<p>居室のタンスやドレッサー・椅子などは事業所で設置されている。タンスは、利用者の若い頃のなじみの形で金具がついており、開け閉めの時は金具の音が懐かしさを感じさせる。利用者は、思い出の写真や好きな花を持ち込み全体が落ち着いた空間になっている。部屋ごとにトイレや洗面台があり、自分らしい居心地のよい生活ができている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している</p>	<p>居室や共有空間の装飾は明るい優しい色彩を使用し、和らいだ気持ちの中で過ごせるように配慮している。お一人おひとりの身体機能の変化に合わせ、ケアの内容とともにPT・専門スタッフと検討し安全を保ち自立した生活を送れる環境づくりを行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない